



只今活動中！ふるさと探究科！！～東国分爽風学園の取り組み～

2021(令和3)年4月から、市内初の小中一貫型小学校・中学校※としてスタートした「東国分爽風学園」(東国分中学校、曾谷小学校、稲越小学校)では、「ふるさと探究科」という新しい教科を立ち上げ、自分たちの地域(ふるさと)に愛着を持つことや、地域に対して自分ができること、そして、自分の将来を考えることなどについて、探究的な学習を実施しています。

曾谷小学校の5年生は、「ふるさとアピール大作戦」と題し、自分たちの地域の「魅力」について調べ、発信する取り組みをしています。先日は、地域にある国指定史跡の「曾谷貝塚」のことについて、ボランティアガイドの方から詳しく話を聞きました。話を聞いた子ども達は「見たことある！」「そうなんだ！」と、身近にある曾谷貝塚の歴史的な価値について、新たに知る機会となったようです。

稲越小学校の5年生は、自分達で「米作りをしたい！」と考え、「稲っ子ハッピープロジェクト」と題し、学校の敷地の中で米作りをしました。「土づくり」や「田植え」、「稲刈り」、「脱穀」など、米作りに必要な作業は、全て子ども達が行いました。活動を進める中で、わからないことがあった時には、自分たちで地域の方々に電話やお手紙で協力をお願いし、地域の方々の力を借りながら学習を進めることで、当たり前前に食べていたお米が、多くの人の苦勞と努力によって作られていることを実感したようです。



<曾谷貝塚の歴史を聞く、曾谷小学校の5年生>



<収穫したお米を竹で炊く、稲越小学校の5年生>

東国分中学校でも、学年に応じた学習計画を立て、進路学習や校外学習、キャリア教育などに合わせて学習を進めています。

東国分爽風学園では、今後も、ふるさと探究科の学習計画に沿った取り組みを進め、探究的な学習を推進していきます。

※「小中一貫型小学校・中学校」とは、正式な学校名や校舎などは、今までと変わることなく、義務教育学校に準じた形で義務教育9年間を一貫して教育ができる学校です。